



愛の手で あなたをつつむ 被害者支援

会報 ふくしまの空

発行 公益社団法人ふくしま被害者支援センター
〒960-8002 福島市森合町 14-6 第三福島トヨタビル 2F
事務局 TEL&FAX 024-533-7830

新しい事業への取り組み

公益社団法人 ふくしま被害者支援センター
専務理事 廣 木 康 二



このところ例年以上の暑さに見舞われていますが、皆様ご健康に留意されお過ごしのことと存じます。残暑お見舞いを申し上げます。

さて、当センターは平成19年7月に開設しましたので、満6年を経過いたしました。これまでの間、多くの皆様のご支援ご協力によりまして、被害者等への支援活動を続けることができ、厚く、又、深く感謝を申し上げます。

理事長をはじめとする役員及び正会員の皆様のご指導をいただきながら、少しずつではありますが活動を進化させ、悲惨な体験をされた被害者やそのご家族、ご遺族の皆様の被害回復のお役にたてるよう努力しているところでございます。

今年度は、後に記載のとおり5つの重点項目を掲げておりますが、次の2点について特に申し上げご理解を賜りたいと存じます。

その一つは、性暴力等被害救援協力機関(さくら(SACRA)ふくしま)事業です。この事業は、県産婦人科医会、福島県警察及び当センターが連携し、性暴力被害を受け診療機関を訪れた被害者の意思を確認したうえで、民間支援団体に取り次ぎ、いち早く支援活動をスタートさせるとともに、警察への被害申告のお手伝いをする等、被害者の被害の早期回復を図ろうとする活動であります。この活動には、県内110余りの産婦人科医会加盟病院等の内56の病院等から参加の表明をいただき、本年4月1日から活動を開始しております。今後の活動が期待されております。

その二は、寄付型自動販売機の普及拡大の活動です。この活動は、当センターのオリジナルデザインをラッピングした寄付型自動販売機をより多く設置することにより、被害者支援活動そのものの周知普及に役立つこと、設置に協力している事業者や個人の社会貢献活動の周知を図ること、そして売上金からの寄付を頂戴することを目指しております。

これまでに、寄付型自動販売機は県内に3台設置していただいておりますが、現在新たに3台の設置について進行中であります。この事業は、向こう5年間で200台を目標としておりますので、ご理解の上ご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、これらの活動に当たりましては、今年度から配分されました「預保納付金助成事業費」を充当することとしております。この事業費は向こう3年程度継続すると考えられますが、いずれ有限の財源であることから、代替え財源の確保を考慮しながら取組むことが求められることになると考えております。

いずれにいたしましても、日々新たな犯罪が発生する社会環境の中で、悲惨な犯罪等の被害者への支援活動はますます必要かつ重要な課題であると認識し、志を共にしている支援活動員の各位共々、真剣に取り組んで参りますので更に一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成25年度 第1回定時総会の開催

去る6月17日(月)、「ホテル福島グリーンパレス」において定時総会を開催しました。

定時総会では、「役員の改選」、「平成24年度事業報告」、「平成24年度決算報告」、「平成25年度事業計画案」、「平成25年度収支予算案」、「定款の一部変更(事業局の新設)」及び「規程の一部変更(事業局関連)」の7件について提案・審議され、いずれも原案どおり可決、承認されました。

また、当センターは開設以来6年目を迎え、業務が複雑・多様化していることから、事務局に加え、主に支援活動を担当する「事業局」を新たに設置し二局体制とし、業務の効率化、専門化を図ることとしました。

初代事業局長に「佐藤厚子さん」が就任しました。



～生島理事長あいさつ～



～総会開催風景～

役員の選任

6月17日開催の定時総会において、任期満了に伴う役員の改選が行われ、新たに福島民報社総務局長花見政行氏が就任したほかは、全員が再任されました。

なお、役員の任期は、平成27年度開催の定時総会までの2年間となります。

番号	役職	氏名	現職	番号	役職	氏名	現職
1	理事長	生島 浩	福島大学大学院人間発達文化研究科教授	11	理事	柳沼 幸雄	福島民友新聞社常務取締役編集制作本部長
2	副理事長	澤井 功	澤井法律事務所所長(弁護士)	12	理事	花見 政行	福島民報社総務局長
3	副理事長	酒井 芳子	財大原総合病院清水病院心理カウンセラー(臨床心理士)	13	理事	羽田 幸弘	福島商工会議所理事
4	理事	金子 興宏	(一財)福島県自動車会議所会長	14	理事	阿久津文作	福島県商工会連合会専務理事
5	理事	東城 輝夫	福島県弁護士会犯罪被害者委員会委員長	15	理事	高山 隆	福島経済同友会事務局長
6	理事	佐藤 健介	福島トヨタ自動車株式会社取締役社長	16	理事	橋本 節子	福島県臨床心理士会被害者支援担当理事
7	理事	庄條 徳一	JA福島中央会長	17	専務理事	廣木 康二	(公社)ふくしま被害者支援センター
8	理事	熊倉 徹雄	福島県精神科病院協会会長	18	監事	安斎 勇雄	安斎会計事務所所長(公認会計士)
9	理事	遠藤 道雄	福島県被害者等支援連絡協議会長	19	監事	石井 一彰	(株)東邦銀行総務部長
10	理事	鈴木 長司	福島県精神保健福祉士会長				

※ 柳沼幸雄氏には、総会後において会社内人事異動により、新たに当センター担当となりましたことによる就任であることを申し添えます。

平成24年度の事業報告

○電話相談、面接相談及び直接的支援の活動結果～

平成24年度の取扱総件数は159件(104人)で、前年対比で16件(1人)が増加しています。特徴的なこととしては、電話相談では会津、相双及びいわき方部の相談者が前年対比で約2.5倍に増加したこと、直接的支援活動では公判付添支援など支援件数が増加したことが挙げられます。活動の概要については次表のとおりです。

相 談 種 別 等	相 談 事 案 内 容(件・人)								計	
	身 体 犯 関 係		交 通 事 故 関 係		そ の 他 犯 罪 被 害		そ の 他			
	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
電 話 相 談	55 (47)	26 (29)	14 (22)	14 (13)	8 (10)	4 (8)	36 (34)	27 (29)	113 (113)	71 (79)
面 接 相 談	15 (11)	12 (7)	2 (2)	2 (2)	2 (3)	2 (3)	4 (4)	4 (4)	23 (20)	21 (16)
直 接 的 支 援	12 (3)	8 (2)	8 (4)	3 (2)	0 (1)	0 (1)	3 (1)	1 (1)	23 (9)	12 (6)
計	82 (64)	46 (40)	24 (28)	19 (17)	10 (14)	6 (12)	43 (39)	32 (34)	159 (143)	104 (103)

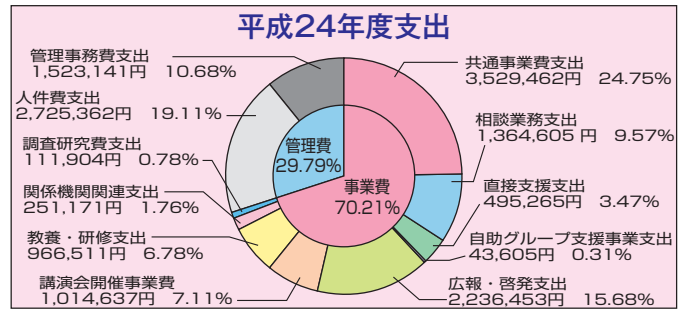
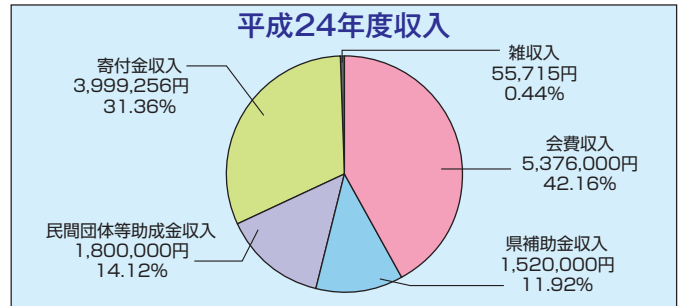
※()内は前年度の件数、人員を表示

平成24年度収支決算報告

平成24年度の収支決算の概要は、次表のとおりです。

○一般会計

平成24年度収支決算(円)			
収 入	会費収入		5,376,000
	県補助金収入		1,520,000
	民間団体等助成金収入		1,800,000
	寄付金収入		3,999,256
	雑収入		55,715
	前期繰越金		6,755,221
	収入総額		19,506,172
支 出	事業費	共通事業費支出	3,529,462
		相談業務支出	1,364,605
		直接支援支出	495,265
		自助グループ支援事業支出	43,605
		広報・啓発支出	2,236,453
		講演会開催事業費	1,014,637
		教養・研修支出	966,511
		関係機関関連支出	251,171
		調査研究費支出	111,904
	管理費	人件費支出	2,725,362
		管理事務費支出	1,523,141
	次期繰越金		5,244,076
	支出総額		19,506,172



※特定資産(大規模支援準備金)として、15,000千円の積立をしています。

平成25年度事業計画

本年度は新たに「預保納付金助成事業」という国からの事業が設けられ、当センターにおきましてもこの事業に応募し、4事業9,860千円が認められました。

本年度の事業概要は、預保納付金助成事業を含む、次の5つの事業について重点的に取り組んで参ります。

- 県産婦人科医会、県警察、関係部局等との連携の下に本年4月スタートした「性暴力等被害救援協力機関(SACRAふくしま)」を軌道に乗せ、性暴力被害者支援の充実を図る(預保納付金助成事業)
- 支援活動員の質的向上に必要な充実した研修の実施
- 自助グループの効用を広めながら、自助グループの活性化を図る
- 県警察の提唱する「被害者に優しい“ふくしまの風”運動」に共同して取り組み、その実効を高める
- 寄付型自動販売機設置拡大5カ年計画の推進(預保納付金助成事業)

預保納付金を用いた犯罪被害者等の支援事業

※ 預保納付金助成事業とは

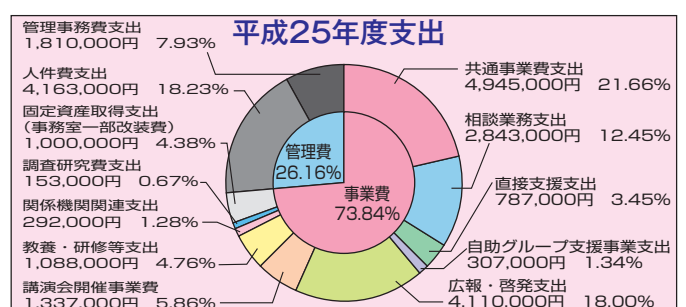
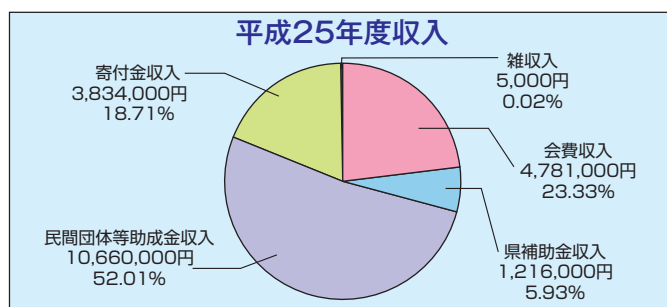
振り込め詐欺救済法(犯罪利用口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律)に基づき、犯罪被害者等の支援充実を図るために平成25年度から新設された助成事業です。

この事業は、国の委託を受けた日本財団が窓口となり、全国の関係機関・団体からの申請を受け付け、内容を審査し、助成金を決定・配布するものです。

平成25年度予算

平成25年度は、国からの犯罪被害者等支援団体に対する預保納付金助成もあり、繰越金を除き前年対比で5,920千円、41%増の20,496千円の予算としました。

予算の概要は、次のとおりです。



※特定資産(大規模支援準備金)として、15,000千円の積立をしています。

「命の大切さを学ぶ授業」等の講師へ感謝状

県警察との共催事業として平成21年度から推進しています「被害者に優しい“ふくしまの風”運動」の主要施策である「命の大切さを学ぶ授業」は、これまで3万人を超える学生、生徒等が聴講しています。これらの講演を通じて、被害者支援への理解、規範意識の高揚が図れるなど大きな成果が見られたことから、本年2月に、これまで講師として被害者支援の推進に貢献された県内外の講師21名の皆様に県警察本部長から感謝状を、当センターからは副賞としての額縁をそれぞれ贈らせていただきました。

県内講師としては、被害者遺族である荒井俊直さん、齋藤貴栄さん、岡崎照子さん及び渡邊佳子さんの4名の皆様から講演をいただき、2回に分け県警察本部逢阪警務部長などから感謝状が手渡されました。



～感謝状を受賞された県内講師の皆様～

～感謝状を受賞されました講師の皆様からの感想・謝辞～

受賞されました県内講師の皆様からは、

- 当時を思い出して辛い部分もあります。しかし、県警から送られてくる生徒の感想文に「講演を聴いて良かった。」「母がどれほど私のことを思ってくれているかがわかった。」「家族のありがたみ、友だちの大切さがわかった。」と書いてあるのを見ると、講演をやって良かったと思います。今回は、感謝状までいただき、とてもうれしいです。
- これまで講演活動をしてきたことが社会的に認められたようでうれしい。報われた思いがします。

などの感想が寄せられました。

また、岩手県、山形県、栃木県、東京都など10都県にお住まいの県外講師17名の皆様には郵送でお届けしました。

受賞された県外講師の皆様からは

- 多感な時期の中学生に伝えることで、被害や加害に関わらず、もし関わったとしても立派に乗り越えて欲しいと期待を込めました。
- 震災後の講演である中学校の感想が気になっていたのも、同封の作文を読んでとても有り難い気持ちになりました。
- 感謝状という形で正式に感謝の意を示してもらえとは思わなかった。自分の活動が役に立っているのかどうか半信半疑だったが、初めて公に認めてもらったのでうれしい。

などの感想が寄せられました。

被害者又はそのご遺族としての貴重な体験を講演していただきました講師の皆様には、心より感謝を申し上げますとともに、これからもご協力を賜りながら支援活動の普及及び規範意識の高揚に取り組んでいきたいと決意を新たにしております。

「SACRAふくしま」運用開始

「SACRAふくしま(性暴力被害救援協力機関)」4月1日運用開始

性暴力等の被害に遭われた方々が安心して相談や支援を受けることが出来るよう、4月1日から「SACRAふくしま」の運用を開始しました。

当センター、県産婦人科医会及び県警察との三者協議会を立ち上げ、足かけ3年にわたる協議を重ね、昨年6月20日に「性犯罪被害者支援における連携と協力に関する覚書」を、本年3月18日には「性暴力等被害救援協力機関(SACRAふくしま)に関する協定書」をそれぞれ締結し、運用開始の運びとなりました。

「SACRAふくしま」は、専用の相談電話(024-533-3940)により、平日の午前10時から午後4時まで、月曜・水曜・金曜の3日間は午後8時まで電話相談を受けております。

これまで寄せられました相談は、

- ・産婦人科医師からの通報
- ・医師の薦めによる被害者からの相談
- ・県警察からの情報提供
- ・被害者やその知人からの相談

などであり、一つひとつ十分な検討のうえ、弁護士や警察署への付添支援などの支援活動に当たっています。

現在、県内の産婦人科病院等の半数に当たる56病院等の先生方にご協力をいただいておりますが、更に三者間の連携、協力を強固なものとし、被害者の心に寄り添い、被害の回復へつながるよう支援活動を展開して参りたいと考えております。

なお、当センターホームページ(<http://www.vsc-fukushima.net>)でもご覧いただけます。

悪いのはあなたじゃない。

勇気を出して

話してみませんか。

SACRAふくしま(性暴力等被害相談電話)

024-533-3940
さくらしえん

～支援活動員からの一言～

ここ数年、当センターに於いては性犯罪被害者からの相談や直接支援が増加傾向にあります。

しかし、福島県警によると性犯罪被害者の中で、警察相談以外の相談機関に相談した人は、僅か2.2%(平成24年度統計)しかいないのが現状であり、実に多くの性犯罪が潜在化していることを窺い知ることができます。本年4月の「SACRAふくしま」開設以来、数十件の支援をしておりますが、被害者がどこにも相談できずにたった一人で悩んでいるという性犯罪の深刻さを思うと、「SACRAふくしま」を広く県民に周知することが先決と考えます。支援員としては、犯罪被害支援スキルに加えて、性犯罪被害の専門性スキルを身につけ、性犯罪被害者のニーズに寄り添った支援に当たりたいと思います。(50歳代 女性支援員)

最初の「SACRAふくしま」への相談電話は、SACRA運用開始一日前のことでした。

「あの…、話しても良いですか。この電話、新聞に明日からと書いてあったんですけど…」

SACRAの新聞記事を見て、相談開始は明日と知りながら、電話されたとのことでした。SACRA電話は、待たれているのだと思われたできごとでした。性犯罪被害について安全に話せる場所が少ない現状です。簡単に人に話せる事柄でもありません。家族には心配をかけたくないという思いもあります。一人で誰にも言えず辛い気持ちを抱え込んでいる人が多いことは、想像に難くありません。相談される方の中には、解決を求めるのではなく、ただ気持ちを誰かに話したかったという方もおられます。

SACRAがよりたくさんの人たちに知られ、社会に根付き、傷ついた方たちへのセーフティネットとなれることを願っています。(50歳代 女性支援員)

～性暴力被害者のために～
SACRAふくしま開設のお知らせ

SACRA ふくしま
性暴力被害救援協力機関(Sexual Assault Crisis Response Association)
～あなたはひとりじゃない～
「SACRAふくしま」とは・・・
性暴力被害に遭われた方々のために、県内の被害者支援団体を中心に、協力関係機関、警察等が互いに連携、協力し合って被害者の方々に支援するネットワークのことです。

ひとりで悩まないで話をしてみてください。
あなたは決して悪くありません。どうか自分を責めないでください。

SACRA ホットライン
SACRAふくしまでは、性暴力被害に関する相談を電話で受けています。
ご相談は、**SACRA ホットライン**へ
024-533-3940
ふくしま被害者支援センターの女性支援員が対応します。
月・水・金 10:00～20:00
火・木 10:00～16:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)
要望に応じて病院、警察等へできる限り付添います。
※ 協力関係機関の情報は福島県産婦人科医会、(公社)ふくしま被害者支援センター及び福島県警察本部のホームページをご覧ください。

県警でも性暴力被害に関する相談を電話で受けています。
県警性犯罪被害T10課(フリーダイヤル)
0120-503-732
月～金 9:00～17:00 女性相談官が対応します。
福島県産婦人科医会・(公社)ふくしま被害者支援センター・福島県警察本部

寄付型自動販売機の設置拡大

～犯罪被害者を支援する活動のパートナーになってください!!～

当センターでは、寄付型自動販売機を設置して下さる事業所・団体或いは個人の方々を募集しております。この自動販売機には、当センター独自のデザインを施したラッピングを行い「被害者支援」を応援していることが一目で分かるようにしております。

このラッピングは、次のことを狙いとしています。

- ① 設置する企業・団体或いは個人の名称を表記し、企業団体等の社会貢献・CSR活動としてのPRに役立てています。
- ② 「被害者支援」の目的が分かりやすいように、独自のラッピングを施し、利用者に寄付目的を明示し、寄付への理解を深めていただきます。
- ③ 県内各地に普及設置を図ることにより、「被害者支援の広告塔」としての役割を担っていただきます。
- ④ 売上げから1本につき10円の寄付をいただき、被害者支援活動に活用させていただきます。
(寄付金10円の内訳は、地元支援センター7円、全国被害者支援ネットワーク2円、日本財団1円と案分することとなっています。)



～第1号機:福島銀行本店ロビー～

～福島銀行本店ロビー設置の第1号機～

このオリジナルデザインは、郡山市の郡山ビジネス専門学校及び郡山国際アート&デザイン専門学校の全面のご協力をいただき、若い感性を持ち合わせている両校の学生さんの作品の中から選ばれたものです。

このデザインの一部を施した自動販売機の第1号は、昨年末に福島市内の福島銀行本店ロビーに設置され運用させていただいております。

この第1号自動販売機は、本年3月末までの売上げ分として、当センターに11,067円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

この寄付型自動販売機を県内一円に設置を拡大し、「被害者支援」活動を広く周知されることを願い、年間30～40台の設置を目標に、5カ年計画として息の長い取組みをして参りますので、皆様のご協力をお願いいたします。

寄付金の贈呈式

次の団体からご寄付をいただき、過日、贈呈式を執り行わせていただきました。

心より感謝を申しあげます。寄せられました寄付金は、犯罪や事故の被害者、そのご家族・ご遺族の方々への精神的支援や病院、裁判所などへの付添支援等、被害の回復につながる支援活動を行うための貴重な財源として活用させていただいております。

- 平成24年12月11日、二本松市「福島の地酒桜酒販」様から2万円のご寄付をいただきました。
- 平成24年12月19日、郡山市「福島県中央遊技業協同組合」、同「郡山遊技場組合」様から併せて20万円のご寄付をいただきました。
- 平成24年12月28日、田村市「医療法人慶信會 石塚医院」様から15万円のご寄付をいただきました。
- 平成25年4月16日、須賀川市「須賀川遊技業組合」様、田村市「田村地区遊技場組合」様から併せて10万円、郡山市「福島県中央遊技業協同組合」様から10万円のご寄付をいただきました。

～皆様方の温かいご支援に支えられて～

今期賛助会員等のご紹介(平成24年12月1日から平成25年7月31日まで)

次の方々から賛助会員等としての会費、ご寄付を頂きました。

心から御礼を申し上げます。当センターの活動は、皆様方の温かいご支援に支えられております。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(順不同・敬称略)

個人													
福島方部	安斎 勇雄 白石 弘一 菅野 晴隆 安田 弘二 高橋 一郎 古宇田 伸 小林 正道	加藤 直樹 本名まゆみ 鈴木美紀夫 吉津 敬介 渡部 純夫 高橋ふく子 竹中 淳一	近藤 政信 朝倉 雅夫 根本 五郎 斉藤 登 大木 早苗 橋本 隆 長谷川栄治	志村 淳史 菅藤紀久夫 松本 利雄 高野 智典 栗城 康夫 岡崎 文雄 加藤 徹	東原代里子 齋藤 圭一 荒井 俊直 野口まゆみ 佐藤 彰孝 木幡 寿夫 小林 瑞秀	本名 彰 菅野 昭弘 菅野 浩司 山田 裕樹 高橋 英生 佐藤 浩一 鹿野 孝次	彰 昭弘 阿久津省三 寺島 正也 齊藤 達弘 遠藤 三男 野矢 和七 高橋 均	津 正也 三 弘 達 三男 和 七 均	金田 増子 関 清一 木村 進 渡邊 武 蓮沼 眞一 原田 吉章	和也 公一 一 清 清 進 真 一 吉 章	紺野 高栄 阿部 良一 根本 笹原 笹原 友厚 大橋 正弘 織田 裕美	野 良一 部 友厚 根 大橋 原 正弘 大 織田 橋 裕美	高 栄一 柴 厚一 正 弘 弘 裕美
福島北方部	栗野 章 佐々木敏真	金成 匡以 廣本 康二	佐藤 正人 白井 君江	大泉 一郎 川口 容子	橋本 榮一 柴崎 裕	渡辺 郁子 澁谷 常則	井上 俊彦 緑川 静	川口 洋司 廣木 幸子	佐藤 昌知	高橋 重信	洋一		
伊達方部	遠藤 晃成 横山 弘幸	佐藤 孝之 遠藤 道雄	高野 研一 唐橋 龍男	鈴木 清高	湯田 健一	渡部 祐治	大竹 重範	佐藤 昌知	高橋 重信				
二本松方部	菊田 邦夫	齋藤 喜市	鈴木 善治	高橋 幸三									
郡山方部	浅井 嗣夫 橋本 節子	齋藤 哲司 滝沢 洋一	千葉 昇 児玉 賢嗣	松崎 絹 星 功	伊藤 正行	渡邊 佳子	岡部 淳	先崎 純一	増子 敬				
郡山北方部	明村 英治 國分 廣幸 尾形 良 高木 正春 佐藤 英樹 羽川 慎也 吉田 佳生	鈴木 昭佐 杉本 和也 佐々木伸哉 折笠 順 高萩 睦 山崎 一美 半澤 晃	原 哲哉 淀川 隆之 塩田 周平 郡司 雅彦 田口 満 山崎 幸司 穂積 成彦	星 正人 大和田史佳 関根 貴史 佐藤 孝幸 野路 明央 湯田 佳織 谷津田佳祐	伊藤 昌男 菅野 正春 梅津 規 柴田 和紀 廣田 哲夫 田中 達也 山田 明彦	磯川 昭夫 小林 秀路 小野口拓夫 高木 茂保 湊 広次 波田野浩典 渡邊 征彦	安斎 貴裕 佐原 祐介 北村宗一郎 義夫 宏美 純	大野 修司 関根 篤志 佐竹 俊英 鎌田 本昭 山田 藤信 八木 沼俊	河治 井上 井上 弘貴 柴田 香野 多田 大輔 山崎 良教	武 祐司 司 弘貴 貴 満俊 俊 大輔 良 教			
白河方部	植木 勝	白石田俊幸	東原 康文	永崎 光雄	宮本多可夫	吉川 幸雄							
石川方部	小松 道男	三瓶 陽子	志賀 則夫	田子 靖子	長谷川百合子	矢内 洋子							
棚倉方部	金澤 博信	齋藤 茂		田村方部	佐藤 道拓	椎根 正之	石塚美佐子	石塚ミフユ					
会津若松方部	伊藤 俊晴 横山 謙治	鈴木 桂子 渡部 博之	玉川 和子 遠藤 恒友	平野 亨啓 穴澤 啓	山口 仁 安藤 信之	吉田 幸代	伊藤 博	高瀬 淳	長峯 浩				
猪苗代方部	小林 洋	菅沼 裕子	鈴木 長年	鈴木 泰									
喜多方方部	阿部 明弘	一重 桂子	星 宗治		南会津方部	君島 富子							
いわき中央方部	吾妻 一照	鴨沢 律子	小松 好明	白岩 隆文	須藤 雪子	新妻 滋	大場 純義	國井 善男	三本松和夫				
いわき東方部	石田 冴子	小野 実	佐藤 敦	佐野 京子	白岩 陽子								
いわき南方部	片寄 一郎		南相馬方部	亀井 勝美									
法人・団体													
福島方部	(一社)福島県交通安全協会 福島県弁護士会 弁護士法人プレインハート法律事務所 社会福祉法人福島県社会福祉協議会 (株)日産サティオ福島 福島県民共済生活協同組合			福島県中小企業団体中央会 文化設備工業(株) (財)福島県自動車会談所 (株)アトリエ・オレンジ (株)キャビンプラザ 福島県商工会連合会			富士印刷(有) 公益社団法人福島県防犯協会連合会 (医)西口クリニック婦人科 福島県情報通信部親交会 福島県商工会議所連合会 福島県二輪車安全普及協会			(株)福島銀行 福島民報社 丸藤ガラス(株) (社)福島県歯科医師会 福島県軽自動車協会			
福島北方部	(株)ティエムシー (社)福島県トラック協会			(株)吉田運輸 (有)桜井運送			(有)後藤設備 伊勢屋旅館			JA福島女性部協議会 マエサン東北農材(株)			
伊達方部	(有)井上建材			二本松方部			ふくしまの地酒桜酒販						
郡山方部	国際ロータリークラブ第2530地区ガバナー			福島県精神神経科診療所協会			福島県中央遊技業協同組合			福島県精神科病院協会			
郡山北方部	宝化成機器(株) 郡山遊技場組合			森(株)			南達地方県内暴力排除推進協議会			東和(株)			
須賀川方部	(株)釜屋			神田産業(株)			福陽ガス(株)			須賀川遊技業組合			
白河方部	(株)高砂ホンダモーター 白河自家用自動車協会部			こちや自動車工業(株) 東白商事(株)			(有)本多自動車工場 木村可鍛(株)			(株)ヤマシロ			
棚倉方部	(株)星電設			八溝マテリアル(株)									
田村方部	(株)鈴船建設			田村地区警察官友の会			田村地区遊技場組合						
会津若松方部	会津オリンパス(株) 扇町渡部小児科アレルギー科医院 (有)佐瀬会計事務所			遠藤歯科医院 丸果会津青果(株) 医療法人二瓶眼科医院			なるせとみこレディースクリニック 会津パッケージ(株)			会津自動車工業(株) 佐藤内科小児科医院			
猪苗代方部	(有)阿部重郎商店			会津坂下方部			会津坂下地区企業安全連絡会			八二醸造(有)			
南会津方部	(有)只見荘												
いわき中央方部	(株)平中央自動車学校			盛英自動車(株)			堀江工業(株)			(株)大海商事			
いわき東方部	いわき小名浜ロータリークラブ (社)福島県トラック協会いわき支部			日本化成(株)小名浜工場 いわき東署地域課第2班			いわきトラック事業協同組合 (株)大橋			いわき東地区みかじめ料排除協議会			
いわき南方部	岩電機工事(株)			(株)福陽自動車教習所			東陽重機(株)						
南相馬方部	(有)西部商事 東北建設(株)			後藤建設工業(株) (有)桜井自動車商会			丸三製紙(株)			(株)菊池製作所			
双葉方部	(株)倉伸			(株)アトックス福島第二事業所			(株)東芝						
相馬方部	(株)福島県東部自動車教習所			岩手県			(株)七福人						

どうしていいか分からず悩んでいるなら 話しをしてみませんか。

犯罪は風化しても、犯罪被害者のつらい記憶は風化することはありません。その心の傷の回復には、周囲の人々の理解と共感、そして温かく見守ってあげることが大切です。

ひとりで悩まずご相談下さい。

ふくしま被害者支援センターでは

- ◇電話相談・面接相談を行っています。
- ◇裁判所・警察・病院等への付き添いをします。
- ◇犯罪被害者等給付金の申請のアドバイスを行います。
- ◇弁護士会等の関係機関、団体と連携した支援を行います。
- ◇被害者支援の幅広い広報・啓発活動を行っています。
- ◇被害者同士の交流の場(自助グループ)を提供しています。

電話相談・支援受付時間

月曜日から金曜日：午前10時～午後4時
(祝日、年末年始を除きます。)のほか
「SACRAふくしま」は、月曜・水曜・金曜：
午後8時まで電話相談ができます。
なお、面接相談は予約が必要です。

犯罪や事故の被害に関する相談電話

024-533-9600

SACRAふくしま(性暴力等被害相談電話)

024-533-3940

相談は無料です。秘密は厳守します。

賛助会員募集中

当センターは、皆様の会費ご寄付により運営されています。

年会費 ○ 個人…1口 2,000円より ○ 法人・団体…1口 10,000円より

福島県公安委員会指定「犯罪被害者等早期援助団体」(公社)ふくしま被害者支援センター

〒960-8002 福島市森合町14-6 第二福島トヨタビル2F(福島中央郵便局向かい) TEL/FAX 024-533-7830

●当センターは、公益社団法人です。会費を納めたり、寄付をした場合は、税法上の優遇措置があります。

※なお、「ご寄付」については、金額は問いません。

愛の手で あなたをつつむ 被害者支援

「SACRAふくしま」開設に関して

性暴力等の被害に遭われた方々が安心して相談や支援を受けることの出来る支援ネットワーク構築を目指し、4月1日から「SACRAふくしま」の運用を開始いたしました。

全国には愛知県、大阪府、東京都などに性犯罪被害者対応拠点が設置され運用されておりますが、中小都市分散型の本県においては、拠点型の「ワンストップ支援センター」は理想としながらも開設費用の経費負担や人員配置の負担等が懸念材料となっておりました。

そこで、当センター、県産婦人科医会及び県警察との足かけ3年にわたる三者協議の結果、県内の産婦人科病院等を訪れた被害者等の承諾を前提に、病院等もしくは被害者等からの情報に基づいて、速やかかつ円滑に支援活動をスタートさせるためのネットワーク型「SACRAふくしま」を立ち上げ、運用を開始する運びとなりました。

運用開始後4ヶ月余りが経過しましたが、これまで約10名の方から30件余りに及ぶ相談や支援要請をいただいております。今後は、更に県内各地区の医療機関の参加をいただきながら、県内いずれの地区にもこの活動の趣旨が行き届き、相談や支援が行われるよう一層の努力をして参りたいと考えております。